

平成29年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社ショクブン
代表者名 代表取締役社長 黒川 真 太 郎
(コード：9969、東証、名証第2部)
問合せ先 執行役員管理本部長 田 澤 友 英
(TEL. 052-773-1011)

(訂正)「平成28年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年1月29日 14時10分に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。

記

1. 訂正の内容

訂正内容と理由につきましては、別途本日（平成29年11月14日）付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますので、ご参照ください。

2. 訂正の理由

訂正箇所は下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正箇所を含む訂正後の全文を記載しております。

以 上

(訂正後)

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 株式会社ショクブン 上場取引所 東・名
コード番号 9969 URL http://www.shokubun.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川瀬 公
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役総務部長 (氏名)小川 典秀 (TEL)052(773)1101
四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,717	△3.5	8	△91.2	△20	—	5	—
27年3月期第3四半期	6,961	△1.5	95	△12.8	38	22.1	△139	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 41 百万円 (92.0%) 27年3月期第3四半期 △78 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	0.58	—
27年3月期第3四半期	△11.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,358	1,956	23.4
27年3月期	8,714	2,074	23.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,956 百万円 27年3月期 2,074 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—	4.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,017	△3.7	132	△36.8	83	△50.3	86	△35.3	8.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	11,856,669株	27年3月期	11,856,669株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	2,252,286株	27年3月期	2,252,180株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	9,604,434株	27年3月期3Q	11,770,035株
----------	------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」及び本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当事業年度内における経済状況は、各新聞紙上等で論評されている諸要因により、消費者の節約志向は依然として続いております。

このような状況下において、当社グループは、「原点回帰」を掲げ、全社員の意識改革を行う一方、主力事業である個人客向け宅配システムなどの見直しをしました。また、主力商品である「エコクック」メニューを11月2日に約7%値上げさせていただきました。これらの施策による効果は徐々に現れ始め、当第3四半期連結会計期間では、売上高が25億22百万円（前年は25億57百万円で98.6%）、経常利益は1億15百万円（前年は93百万円で123.7%）、同四半期純利益は1億8百万円（前年は89百万円の四半期純損失でしたが、減損損失1億58百万円があったため、対応する前期四半期純利益は68百万円で231.3%）になり、経営状況等は改善の方向へ進んでおります。今後も、引き続き製・販体制の強化に努め、安定した利益を確保できるように努めてまいります。

また、法人向け業務として展開している介護食事業は、その栄養バランスや使用食材の良さに加え、宅配システムによる利便性の高い点も介護施設様から評価いただいております。事業食部の職制を法人部に改め、従来の「介護食」に、「学童食」、「事業所食」の業務を加えることにより、総合食事サービス企業として赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆるお客様にご家庭の味を楽しんでいただけるような事業展開を実行してまいります。なお、幼・保一元化策による「学童食」は今後、売上の増加に寄与するものと思われまます。

当第3四半期連結累計期間において、主力メニューの商品売上高は、61億54百万円（前年同四半期比96.1%）、特売商品売上高については、5億63百万円（前年同四半期比100.8%）になりました。

また、売上総利益率を高める為に、生産性の向上と効率的な仕入体制の構築を目的としたシステム改善を行っていますが、円安・天候等に伴う一連の食品価格の値上がりが続いたことや、それに伴う販売価格の改訂を11月に入ってから実施したこと等により、売上原価率は61.7%と前年同四半期の60.4%に比べ1.3ポイント上昇いたしました。

また、販売費及び一般管理費は前年同四半期より99百万円減少し、25億64百万円になりました。この主な理由は人件費の増加はありましたが、メニュー冊子の構成を見直したり、ガソリン価格の値下り等があったことによりまます。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が67億17百万円（前年同四半期比96.5%）、経常損失は20百万円（前年同四半期比は38百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5百万円（前年同四半期は1億39百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）になりました。

(2) 財政状態に関する説明

財務改善を引き続き実施しておりますので、資産の部では、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が98百万円、土地や有価証券の売却等により、有形固定資産が1億50百万円、投資有価証券は1億6百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ3億55百万円減少し、83億58百万円になりました。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ短期借入金が1億50百万円増加しましたが、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が4億5百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ2億87百万円減少し、63億52百万円になりました。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べその他有価証券評価差額金が22百万円、利益剰余金が73百万円減少したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億18百万円減少し、19億56百万円になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想については、平成27年10月30日に公表しました予想数値を変更しております。詳細は本日付「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますので、ご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	762,020	663,690
受取手形及び売掛金	42,684	50,669
原材料及び貯蔵品	129,590	128,646
繰延税金資産	1,466	222
その他	46,538	40,001
貸倒引当金	△122	△122
流動資産合計	982,178	883,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,180,921	1,127,295
土地	5,350,189	5,236,784
その他(純額)	219,514	236,081
有形固定資産合計	6,750,625	6,600,161
無形固定資産	86,989	86,164
投資その他の資産		
投資有価証券	286,824	180,297
退職給付に係る資産	194,163	202,703
繰延税金資産	2,169	2,415
その他	411,741	404,033
投資その他の資産合計	894,898	789,449
固定資産合計	7,732,513	7,475,776
資産合計	8,714,691	8,358,883
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	396,783	533,167
短期借入金	1,950,000	2,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,062,956	1,099,389
未払法人税等	45,404	-
賞与引当金	25,670	13,480
その他	577,037	549,352
流動負債合計	4,057,852	4,295,389
固定負債		
社債	41,000	13,000
長期借入金	2,257,020	1,814,811
退職給付に係る負債	6,319	6,219
資産除去債務	24,196	24,531
繰延税金負債	126,001	117,284
その他	127,427	130,893
固定負債合計	2,581,964	2,106,739
負債合計	6,639,816	6,402,129

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,488,147	1,488,147
利益剰余金	426,882	353,549
自己株式	△1,110,838	△1,110,891
株主資本合計	1,952,202	1,878,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,028	12,172
退職給付に係る調整累計額	87,644	65,766
その他の包括利益累計額合計	122,672	77,938
純資産合計	2,074,874	1,956,754
負債純資産合計	8,714,691	8,358,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	6,961,626	6,717,480
売上原価	4,201,776	4,144,292
売上総利益	2,759,849	2,573,187
販売費及び一般管理費	2,663,929	2,564,733
営業利益	95,920	8,453
営業外収益		
受取利息	2,627	1,421
受取配当金	8,296	3,890
投資有価証券運用益	411	8,927
その他	8,751	14,679
営業外収益合計	20,086	28,919
営業外費用		
支払利息	71,107	52,211
その他	6,458	5,594
営業外費用合計	77,565	57,806
経常利益又は経常損失(△)	38,441	△20,433
特別利益		
固定資産売却益	-	10,946
投資有価証券売却益	-	63,339
特別利益合計	-	74,286
特別損失		
減損損失	158,274	-
特別損失合計	158,274	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△119,833	53,853
法人税、住民税及び事業税	40,066	33,376
法人税等調整額	△20,764	14,897
法人税等合計	19,302	48,273
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△139,135	5,579
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△139,135	5,579

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△139,135	5,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,739	△22,855
退職給付に係る調整額	△12,135	△21,878
その他の包括利益合計	60,604	△44,733
四半期包括利益	△78,531	△39,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78,531	△39,154

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。